

JARI-RB 審査ニュース

第145号

[2009年4月15日]

財団法人 日本自動車研究所
審査登録センター (JARI-RB)

センター長就任にあたり

センター長
西名秀芳

今月より、センター長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。
日頃より、当センターの活動にはご理解、ご協力をいただき大変感謝しております。

さて、昨今の経済情勢は過酷ともいべき状態であり、特に自動車関連産業で厳しい状況にあります。このため、様々な理由で認証を維持できなくなった組織もあり、稼働日短縮による審査日程の変更など、JARI-RBの認証活動にも無視できない影響が出てきております。今年度は経済的には地道な改善で耐え忍ぶことになるとは思いますが、一方では、制度全般を見直し次世代に合う形に変える良い機会でもありと考えております。

昨年7月には経済産業省から「マネジメントシステムの規格認証制度の信頼性確保のためのガイドライン」が出され、これまで対応検討委員会で検討が進められておりますが、そのアウトプットが近々に出てくると考えられます。これを受け、今年度は具体的な活動につなげなければなりません。私なりに主要な課題をまとめますと、「認証制度の信頼性の向上」、「情報公開による透明性の向上」、及び「有効性審査の拡充」の三つになろうと思います。これらの課題に真摯に取り組むことが認証制度の価値を高めることになると考えております。特に有効性審査につきましては、JARI-RBでは既に先取りして検討を進めてきており、具体化しつつあります。これは、ここまでやれば良い、というものではありませんので、今後も継続的に改善活動を行っていくつもりです。

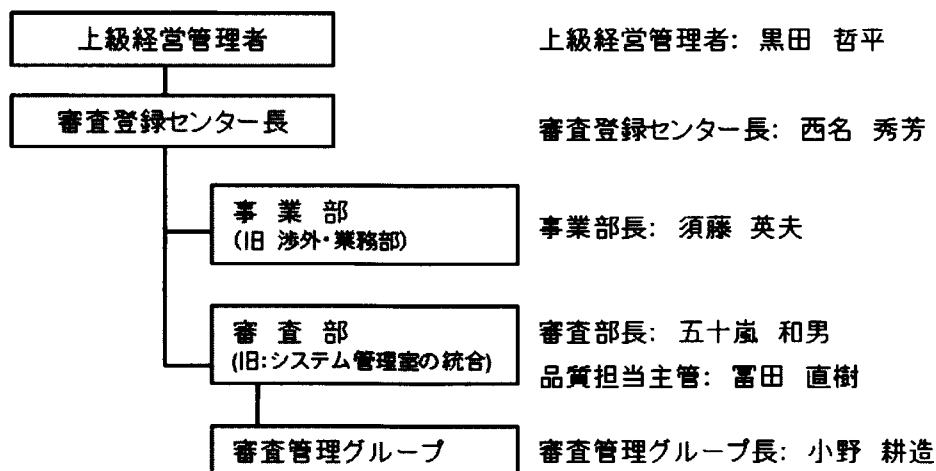
組織から見た認証の価値を考える場合、大きく二つの視点があると思います。社会的な視点と自社の経営課題達成の視点です。組織の皆様は、認証取得の初期段階では前者の趣が大きかったと思いますが、時を経るにつれ後者のニーズが大きくなってきていると思います。このように、組織の皆様のニーズが変化している実態を直視し、適確に対応していくことが健全な制度運営に繋がると信じております。

本年1月に発行された雑誌「アイソス」に掲載された私の小文の中でも触れましたが、この難しい時代を乗り切るためには、組織の皆様とのコミュニケーションが最も必要だと考えております。「厳正な審査」は我々の基本であります。これを軸に、組織の皆様の意見や要望を取り入れ、審査の有効性を高めていくつもりです。

今後とも、ご協力、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

組織改編のお知らせ

審査登録センターは、2009年4月1日付けで職制の変更および組織改編を行いましたので、お知らせします。



初回登録(環境)

登録番号	登録日	登録者名	登録範囲
JAER0779	2009. 3. 6	トヨタエルアンドエフ栃木株式会社	フォークリフト等の各種産業車両, 無人物流システム及びトヨタ物流機器, 環境機器の販売並びに修理
JAER0780	2009. 3. 19	株式会社ホンダソルテック	太陽電池モジュールの製造
JAER0781	2009. 3. 27	トヨタルーフガーデン株式会社	屋上・壁面緑化の設計, 施工・維持管理並びに環境改善植物, 緑化用資材の販売 但し, 畜産バイオマスプロジェクトは除く

更新登録(環境)

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0162	2009. 3. 15	曙ブレーキ山形製造株式会社	ディスクパッド等のブレーキ部品の製造
JAER0163	2009. 3. 15	曙ブレーキ福島製造株式会社	ブレーキライニング等のブレーキ部品の製造
JAER0164	2009. 3. 15	ダイハツ工業株式会社 滋賀(竜王)工場	エンジン, ミッション及び自動車の製造
JAER0166	2009. 3. 15	兵庫トヨタ自動車株式会社	自動車の販売, 整備及び修理
JAER0167	2009. 3. 27	株式会社ケーヒン※ 川崎工場	内燃機関用燃料供給機器及び産業用バルブ関連機器の製造 ・株式会社ケーヒンバルブの拡大
JAER0168	2009. 3. 27	株式会社ケーヒン 狭山工場	カーエアコン製品等の生産及び梱包
JAER0169	2009. 3. 27	株式会社ケーヒン 鈴鹿工場	カーエアコン製品等の生産及び梱包
JAER0170	2009. 3. 27	日野自動車株式会社 新田工場	エンジン部品等の自動車部品の製造
JAER0172	2009. 3. 27	ヤマハ発動機株式会社※ ME及びWV事業部	船用機関の製造 ・袋井南工場の拡大
JAER0173	2009. 3. 27	いすゞ自動車株式会社 栃木工場	大・中・小型トラック用エンジン及びアクスル部品の製造
JAER0445	2009. 3. 8	曙ブレーキ工業株式会社 生産部門	自動車等用ブレーキの型, 治具等の製造及び運送業
JAER0447	2009. 3. 8	千代田工業株式会社	シートロック, シートヒンジ, シートレッグ等の自動車用機能部品の製造

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0448	2009.3.8	株式会社KYOEI ARACO	シート、シートカバー等の自動車用部品の製造
JAER0450	2009.3.8	株式会社キンテック	自動車ボデー構成部品等の製造
JAER0452	2009.3.14	株式会社 丸秀 長井工場・第三工場	自動車用金属プレス部品の製造
JAER0453	2009.3.14	株式会社ソーシン 本社・入間工場、玉川工場	トラック・トレーラー用エンジン部品及び駆動系装置部品の製造
JAER0454	2009.3.14	水島プレス工業株式会社 徳島工場・御津工場	ステアリングシャフト、チェンジレバー、ドアヒンジ等の自動車用部品の製造及びプレス用金型・治具の製造
JAER0455	2009.3.14	東海部品工業株式会社 本社・本社工場・柳原工場・知立工場	自動車ボデー部品の製造
JAER0456	2009.3.14	ミツバ工業株式会社 本社・掛川工場	車両用パイプ加工部品の製造
JAER0458	2009.3.14	三豊工業株式会社	自動車用等のプレス・溶接部品の製造
JAER0459	2009.3.14	第一電装部品株式会社	自動車用部品の製造（室内灯、車用スイッチ類、その他の製造）
JAER0460	2009.3.20	テクノメタル株式会社 本社・二本松工場、北本工場	自動車用鋳鍛造部品の素形材開発、生産、機械加工及び組立て
JAER0461	2009.3.20	曙ブレーキ工業株式会社 Ai-City	輸送機器用ブレーキ及びセンサーの設計、製造及び販売
JAER0462	2009.3.20	曙ブレーキいわき製造株式会社 矢吹工場	各種ブレーキアセンブリー、ブレーキシュー、ブレーキパッドの製造

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAERO463	2009. 3. 20	株式会社 日本クリーナー	ビルメンテナンス（清掃作業，施設の維持・管理）
JAERO464	2009. 3. 20	テムズ中日株式会社	ビルメンテナンス（清掃作業，施設の維持・管理）
JAERO465	2009. 3. 20	エース産業株式会社 本社・八軒町工場・新林工場	自動車用部品，設備機器，電子応用部品，環境改善機器等の製造，販売
JAERO466	2009. 3. 20	日化産業株式会社	食器並びに厨房設備及び資材等の卸売
JAERO467	2009. 3. 20	トヨタ部品東京共販株式会社※	自動車部品，用品，砥油，携帯電話等の卸売及び小売 ・新車用品センター横浜管理グループ，新車用品センター相模原管理グループの拡大
JAERO470	2009. 3. 20	千葉スバル自動車株式会社※	自動車，部品，用品の販売及び修理 ・木更津店の拡大
JAERO473	2009. 3. 30	株式会社メンテック	ビルメンテナンス（清掃作業，施設の維持・管理）
JAERO474	2009. 3. 30	合資会社明清社	ビルメンテナンス（清掃作業，施設の維持・管理）
JAERO475	2009. 3. 30	スズキ株式会社 磐田工場	自動車製造
JAERO476	2009. 3. 30	極東開発工業株式会社 福岡工場	ダンプトラック，脱着ボディー車等の製造
JAERO477	2009. 3. 30	静岡トヨペット株式会社※	自動車の販売，整備及び修理 ・沼津平町店，富士店，清水東名店の拡大
JAERO478	2009. 3. 30	群馬トヨペット株式会社※	自動車の販売，整備及び修理 ・前橋石倉店，前橋天川大島店，前橋上小出店，高崎佐野店，とみおか店，ふじおか店，伊勢崎日乃出店，太田内ヶ島店，館林青柳店，桐生駅前店，長野原羽根尾店，沼田店，ガイパーク群馬町店，ガイパーク太田西部工業団地店，U-Car前橋店，U-Car高崎店，DUO前橋，DUO桐生，レクサス前橋の拡大
JAERO481	2009. 3. 30	スズキ株式会社 高塚工場	二輪車用エンジンの製造
JAERO482	2009. 3. 30	株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ	モータースポーツ・各種イベントの企画，運営，サービス

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0483	2009. 3. 30	株式会社トヨタエンタプライズ 春日井原動力室	原動力設備の運転監視, 保守・保全業務
JAER0525	2009. 3. 27	社団法人 日本自動車連盟	交通安全の推進, 交通環境の改善, ロードサービスの提供, 会員への諸サービスの提供, モータースポーツの統轄, その他公益法人としての諸活動
JAER0548	2009. 3. 5	株式会社CKP	自動車用熱交換部品, 空調部品, 内装部品, 吸排気部品等の製造
JAER0567	2009. 3. 26	大和精工株式会社	エンジン部品・トランスミッション部品等の自動車用部品, 並びに農業機械及びその他の機械・装置の製造
JAER0677	2009. 3. 18	株式会社多田自動車商会	使用済み自動車の収集運搬, 解体, 中間処理及び中古自動車部品の再生・販売
JAER0693	2009. 3. 2	宮崎工業株式会社	自動車・産業用等のオイルシール製造
JAER0695	2009. 3. 10	仙北工業株式会社	自動車用・産業用等のオイルシール製造
JAER0696	2009. 3. 17	株式会社栄光化学	プラスチック射出成形品の製造
JAER0697	2009. 3. 24	株式会社浜名プラスチック	コンソールボックス, エアコン吹き出し口等自動車用プラスチック製品の製造
JAER0698	2009. 3. 31	三春工業株式会社	自動車・産業用等のオイルシール製造
JAER0699	2009. 3. 31	天栄産業株式会社	自動車用・産業用等のオイルシール製造
JAER0700	2009. 3. 31	不二商事株式会社	鉄, 非鉄金属スクラップ加工, 卸売及び産業廃棄物の収集運搬, 中間処理業務
JAER0701	2009. 3. 31	トヨタ部品栃木共販株式会社	自動車部品, 用品, 砥油, 携帯電話等の卸売及び小売
JAER0702	2009. 3. 31	株式会社旭電化研究所 立川工場	薄板, フレキシブル基板及び金属部品のめっき加工
JAER0703	2009. 3. 31	株式会社デンソー東京	自動車用部品・用品, 環境・空調機器の販売・サービス
JAER0705	2009. 3. 31	ダイハツ工業株式会社 鏡工場	産業用エンジンの製造

拡大登録（環境）

登録番号	発効日	登録者名	登録範囲
JAER0335	2009. 3. 6	NOK株式会社	静岡事業場, 藤沢事業場（湘南開発センター）の拡大
JAER0231	2009. 3. 19	東京トヨペット株式会社	台東店, 足立店, 豊玉店, 国立店, 福生店の拡大
JAER0352	2009. 3. 27	埼玉トヨペット株式会社	浦和東支店, 新座支店, 三郷支店, 東松山支店, U-carランド一平北越谷店, U-carランド一平東松山店, 栗橋サービスセンター, レクス熊谷南, 買取一平与野店

更新登録（品質）

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAQR0043	2009. 3. 26	荒川工業株式会社	自動車用駆動部品の製造
JAQR0044	2009. 3. 26	株式会社佐賀鉄工所	各種締結部品の製造

※登録組織の拡大を含む

登録情報の詳細はJARI-RB ホームページ（URL：<http://www.jari-rb.jp/>）をご参照下さい。

環境関連法規等の動き

(09/02/20～09/03/26)

「エネルギーの使用の合理化に関する法律」は昨年5月に改正されました（審査ニュース136号参照）が、4月から施行となります。今回、これに関連した政令が出されました（政令第四十号経済産業省2009. 03. 18）これまで事業所単位でしたが、事業者単位に変わりますので、多くの組織様に影響があると思います。当面の活動として、事業者はその全事業場において、今年4月1日以降2010年3月31日までの間のエネルギー使用量を把握する必要があります。

エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（政令第四十号） （経済産業省：2009. 03. 18）

公布：2009. 03. 18

施行日：2010. 04. 01

1. 政令公布の趣旨

改正法の施行に伴い、エネルギー使用の合理化に関する法律施行令等の関係法令を改正。

（注意事項）：事業者は「2009. 04. 01-2010. 03. 31」において年間エネルギー使用量の把握が必要。

2. 法律施行令等の一部改正の概要

(a) 特定事業者及び特定連鎖化事業者の指定の基準等の状況について

- ・指定の基準：原油換算キロリットルで1,500キロリットル/年となった。
- ・エネルギーの使用量合計量：当該年度において使用した燃料の量並びに当該年度において他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ原油の数量に換算した量を合算した量とする。
- ・特定事業者はエネルギー管理統括者とエネルギー管理企画推進者の選任が必要。
- ・平成21年度における原油換算燃料等使用量と選任基準に従ってエネルギー管理者を選任する。
- ・従来のエネルギー管理指定工場は「等」が追加され、従来通りの基準で運用されます。

第一種エネルギー管理指定工場等の基準 : 3,000キロリットル/年以上の工場等

第二種エネルギー管理指定工場等の基準 : 1,500キロリットル/年以上の工場等

(b) 第一種特定建築物及び第二種特定建築物の規模について

建築物に係るエネルギーの合理化を図るための二つの規模が決まる。

- ・第一種特定建築物の規模（床面積の合計） : 2,000m²以上（改築にも適用あり）
- ・第二種特定建築物の規模（床面積の合計） : 300m²以上（改築又は増築にも適用あり）

(c) 平成23年度までの間の「エネルギー管理者」の経過措置について

- ・エネルギー管理者とはエネルギー管理士免状が必要ですが、以下の資格が適用されます。
 - ①燃料及び熱：エネルギー管理士もしくは2005年改正前までに熱管理士の免状を受けていた者。
 - ②電気：エネルギー管理士もしくは2005年改正前までに電気管理士の免状を受けていた者。
 - ③経済産業省令で定める課程を修了した者又は法律第13条第一項第一号に掲げる者。

3. 原油換算使用量及び電気使用量の区分とエネルギー管理者の選任数の関係

	燃料及び熱：第一種		電気使用
	(イ)	(ロ)	
<3千kL未満	1	←	
3千kL<<10万kL	1		
3千kL<< 2万kL		1	
2万kL<<5万kL		2	
5万kL<<10万kL		3	
10万kL以上	2	4	
1200万kW時未満			1
1200万kW時<<二億kW時			1
二億kW時<<五億kW時			2
五億kW時以上			3

※注：(イ) コークス製造業，電気供給業，ガス供給業又は熱供給業に属する第一種エネルギー管理指定工場等

(ロ) (イ)以外の第一種エネルギー管理工場指定工場等

受審者からひとこと

ISO9001認証取得にあたり

株式会社ソーシン
ISO9001推進室
田中 等**1. 会社紹介**

当社は1934年5月に株式会社各和製作所として設立され、1951年8月に社名を各和精機株式会社に改称し、主にトレーラ連結用カプラやトレーラ用車軸の設計開発・製造を行ってまいりました。1999年4月にトラック部品の製造を行っている国産機器株式会社及び千代田自動車工業株式会社と合併し、社名を現在の株式会社ソーシンに改め発足しました。

事業内容としてはトラック部品の機械加工、板金加工や、トレーラ連結用カプラ、トレーラ用車軸、ウォータポンプ、PTOなどの設計開発・製造、及びこの度ISO9001を認証取得した消防車用シャシ、トレーラ、車両架装の設計開発・製造を行っています。

生産拠点は埼玉県内に所在し、本社・入間工場(入間市)と、玉川工場(ときがわ町)の計2工場で、ISO9001を認証取得した事業内容は入間工場で行われています。

2. 導入の背景

今般、消防車用シャシ、トレーラ、車両架装のお客様からはISO9001導入の要請、もしくは同等の品質要求が多く見受けられるようになり、事業活動をする上で認証取得の機運が盛り上がってきました。また、当社で実施している品質に対する取り組みが、システムとして十分な効果を上げるためには、業務内容の改善と品質に対する意識改善を進めていかなければならないと考えていました。

そこで、お客様からの品質要求に応えると共に、業務改善を通して従業員の品質意識の向上を目指して、品質マネジメントシステムを導入することにしました。また、当社ではISO14001を認証取得していることもあり、環境マネジメントシステムの運用経験を生かして、業務改善に取り組むこととしました。

3. 認証取得への取り組み

2007年10月にISO事務局を立ち上げ、認証取得に向けての活動を開始しました。

まずは、各部署の業務内容を調査して、業務フローを作成しました。この作業を通じて業務内容の問題点や、各部署のやるべき事が明確になってきました。

次に、品質マニュアルと規定類を作成しました。作成にあたっては、部署毎に調査した業務内容を反映して、実態に合った内容となるようにしました。また、品質マニュアルと規定類を正式発行する前にシステムテスト(システムの仮運用)を行い、構築したマネジメントシステムが有効かどうかのチェックを行いました。システムテストの中では、各部署のやるべき事に対して実際にどこまで出来ているかを確認し、運用中に改善していく課題を抽出しました。

品質マニュアルの作成と平行して、関係部署に品質マネジメントシステムを理解してもらうための教育を実施しました。また、内部品質監査員を養成するための講習会を開催し、監査員を養成しました。

それから、品質マニュアルと規定類を発行して運用を開始しました。運用の中では、システムテストで抽出した課題の改善と合わせて、各部署のやるべき事の理解を深めて、自分たちで決めた事はその通りに実行することを徹底しました。

その後、内部品質監査とマネジメントレビューを行い、初回審査を予定通りに受審するに至りました。

4. 今後の活動

品質意識の向上、さらにはお客様からの要求に応えるためには、構築した品質マネジメントシステムをきちんと運用して、定着させ、そして改善していく必要があります。継続的な活動の推進こそが成果を出す基本と考えて、「決めた事は忠実に実行し、評価・反省して問題点を見極め改善する」ことを徹底していきたいと思えます。

今回は、入間工場で行われている消防車用シャシ、トレーラ、車両架装の設計開発・製造に関する事業内容での認証取得となりました。今後は、構築した品質マネジメントシステムをしっかりと運用し、その他の事業内容にも展開していく事で、有効性を高めていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の認証取得にあたり、ご指導、ご協力を頂きました皆様にお礼と感謝を申し上げます。



発行所 財団法人 日本自動車研究所 審査登録センター
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30日本自動車会館12階
TEL 03-5733-7934 (代表) FAX 03-5401-2834
ホームページ http://www.jari-rb.jp/
発行責任者 上級経営管理者 黒田 哲平

通巻 第145号 2009年4月15日
編集人 事業部 部長 須藤 英夫
印刷所 株式会社 高山
茨城県つくば市荊崎1887
送付先変更連絡先 rb-news@jari.or.jp